浜崎

Hamasaki

重要伝統的建造物群保存地区

Preservation Districts for Groups of Historic Buildings

萩といえば、「夏みかんと土塀の城下町」、「武家屋敷が建ち並ぶ町並み」を思い浮かべますが、浜崎は、それとは異なる、江戸時代に開かれた**港町**。

日本海に面することから、北前船の寄港地として、廻船業や水産加工業のほか、味噌、醤油、酒などの製造業が栄え、萩藩の経済を支える町として賑わっていたところです。

平成13年11月には、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、今も、多くの伝統的な町家が残り、伝統的建造物に特定された建築物は、138棟を数えます。

浜崎伝建おたから博物館

平成20年は5月18日に開催

毎年、5月の第3日曜日に開催される、浜崎のメインイベント。伝統的な町家や各家々に伝わる「おたから」を公開します。雑魚場食堂などの出店が立ち並び、多くの家族連れで賑わいます。

旬の情報は浜崎ブログで

浜崎の住民によるホットな現地情報は浜崎ブログをご覧ください。日々の出来事や、イベントのお知らせを見ることができます。萩まちじゅう博物館ホームページ内に設置されています。

http://hamasakih.exblog.jp/

HagiMachijyuHakubutukan 萩まちじゅう博物館

浜崎をもっと知る

浜崎に関する情報は、次のインターネットサイトで得ることができます。

★萩まちじゅう博物館ホームページ サテライト情報 浜崎エリア
http://machihaku.city.hagi.yamaguchi.jp/satellite/hamasaki/index.htm

★萩市役所ホームページ（観光ポータルサイト）http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/

★(社)萩市観光協会ホームページ「ぶらり萩あるき」http://www.hagishi.com/

浜崎に関するお問い合わせ

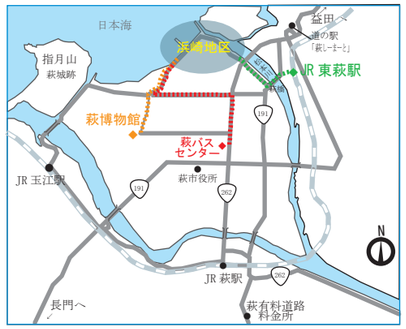
浜崎伝建地区や公開施設に関することは、萩市歴史まちづくり部まちなみ対策課（0838-25-3238）まで。浜崎の現地情報やガイドに関することは、浜崎しっちょる会（旧山中家住宅：0838-22-0133）まで。浜崎を含め、萩市全般の観光に関することは、(社)萩市観光協会（0838-25-1750）、もしくは、萩市商工観光部観光課（0838-25-3139※平日のみ）まで。

市中心部から浜崎へのアクセス

★JRを利用して徒歩で
東萩駅で下車。駅からすぐそばの萩橋を渡り、右折。松本川沿いを進む。徒歩10分。

★まあーるバスを利用
東回りコースに乗車し、「御船倉入口」か「定期船のりば入口」で下車。

★萩博物館から徒歩で
外堀沿いの遊歩道を北に進み、萩看護学校前の横断歩道を渡り、菊ヶ浜沿いを進む。徒歩15分。



マップを片手に浜崎を歩く

浜崎を散策するのに、役立つのが浜崎マップです。浜崎の見どころ満載のこのマップは、地元のまちづくり団体、「浜崎しっちょる会」が発行した手作りのマップです。

市内各地の観光関連の窓口や、旧山中家住宅、梅屋七兵衛旧宅で手に入れることができます。

ガイドと一緒に浜崎を歩く

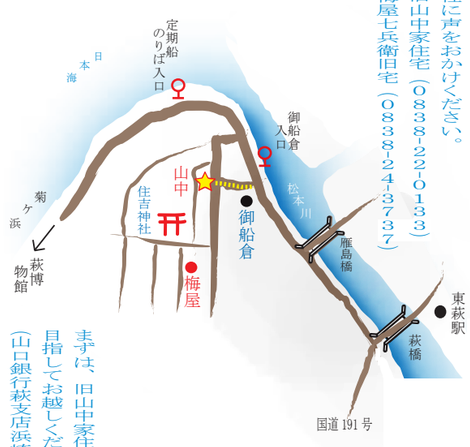
浜崎しっちょる会の案内で、町並み散策ができます。時間やコースなど、ご相談に応じます。事前に、旧山中家住宅までお問い合わせください。

浜崎伝建地区内の公開施設のご案内

浜崎伝建地区では、市所有の2棟の伝統的建造物を一般公開しています。いずれも、開館時間は午前9時から午後5時まで、休館日は毎週水曜日と、盆、年末年始です。施設の管理は、浜崎しっちょる会に委託しています。観光案内の窓口として、気軽に声をおかけください。

★旧山中家住宅（0838-22-0133）

★梅屋七兵衛旧宅（0838-24-3737）



まずは、旧山中家住宅を目指してお越しください。
（山口銀行萩支店浜崎出張所隣）

発行　萩市歴史まちづくり部まちなみ対策課　2008.4

旧山中家住宅

浜崎のオモテ玄関

本町筋と巾着町筋が交差する、浜崎伝建地区の中心に位置し、背の高い二階建ての目立つ外観であることから、浜崎を訪れる人々を真っ先に迎え入れる場所となっています。ここが、浜崎のまち歩きの出発点です。

二階座敷から、巾着町筋、松本川河口を望む。多くの人々が、この巾着町筋を通り、旧山中家を訪れます。

住民も、観光客も、輪になって。人々が集い、笑顔があふれます。

住民と観光客の憩いの場

室内を利用した、様々な展示や催しが楽しめるのも、旧山中家の魅力のひとつ。

旧山村家住宅

平成21年 春
オープン!!

浜崎の拠点施設として改修整備中

旧山中家の斜め向かいに位置する、旧山村家は、江戸時代に町年寄格の有力商人が住んでいた大型の町家です。「山村船具店」の名前で親しまれてきた浜崎の主な町家のひとつで、改修後の平成21年の春には、浜崎の町並み交流の拠点施設として一般公開します。

このあたりでは珍しい、表屋造りの意匠。これも、豪商の証し。

二棟の土蔵は、浜崎や山村家に伝わる「おたから」を展示するスペースとして活用する予定です。

浜崎の奥座敷

梅屋七兵衛旧宅

梅屋七兵衛は、幕末の萩の商人で、酒造業を営んでいましたが、藩の密命を受け、命がけで長崎に鉄砲千丁を買い付けに行き、戊辰戦争での萩藩の勝利に貢献した人物です。また、関西から小堀遠州流のお茶の流儀を持ち帰るなど、文化人でもありました。この旧宅は、七兵衛が晩年を過ごした隠居屋であり、ここでお茶やお花を楽しんだと思われます。本町筋から一筋奥まった場所に敷地を構え、新町上ノ丁筋に開いた門から長いアプローチを経て、庭園を抜け、主屋へと至ります。

古民家再生のモデル住宅

この旧宅は、外観は伝統的な姿を保ち、内部は現代生活に適応した、古民家再生住宅のモデルとして改修整備されています。バリアフリーの土間、コルクタイルの床を施し、キッチンや浴室、トイレも現代的な設備となっています。萩に多く存在する伝統的な家屋を壊すことなく、改修により活用できることを示す見本となっています。